

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 5 月 21 日現在

機関番号：10101

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2008～2011

課題番号：20330030

研究課題名（和文）規制帝国＝EUの歴史的形成と展開

研究課題名（英文）The European Union as a Regulatory Empire: The Past and the Present.

研究代表者

遠藤 乾（ENDO KEN）

北海道大学・大学院公共政策学連携研究部・教授

研究者番号：00281775

研究成果の概要（和文）：本研究は、規制帝国としてのEU（ヨーロッパ連合）を分析した。この研究は、グローバル化する現代世界にあって、世界標準と規制の設定が経済的競争力のみならず政治的影響力を左右するという認識に基づき、この分野で米国と並ぶ力を持つEUの力の源泉を、歴史と現状の両面において解明しようとするものであった。これは同時に、これまでチームで取り組んできたヨーロッパ統合史の研究をさらに発展させ、従来の研究で軽視されてきた規制分野におけるEUの帝國的な権力の検討に接続させ、その影響力の条件を明らかにした。

研究成果の概要（英文）：The present research project analysed the European Union as a regulatory empire. Its underlying perception was that, in the age of globalization, the politics of global standards and regulations was the key to understanding the economic competitions as well as political influence in the current world. The EU parallels the US in this area of setting global standards and regulations, and this project clarified the conditions with which the EU exerts its influence in the world political economy.

交付決定

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2008年度	3,600,000	1,080,000	4,680,000
2009年度	4,200,000	1,260,000	5,460,000
2010年度	3,000,000	900,000	3,900,000
2011年度	2,900,000	870,000	3,770,000
年度			
総計	13,700,000	4,110,000	17,810,000

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：政治学・国際関係論

キーワード：グローバル化、グローバル・スタンダード、EU、欧州連合、ヨーロッパ統合、帝国、規制、標準

1. 研究開始当初の背景

EU、規制、帝国の3つのキーワードを扱う本研究を着想するにいたったのは、ヨーロッパ統合史、グローバル・ガバナンス、帝国の3つの研究が交錯し、その交錯点における

学術的な発展可能性に手ごたえを感じ、EUの規制権力を正面から取り上げ、その歴史的な形成から現況までを本格的に解明するべきだと考えたことによる。

2. 研究の目的

本研究は、規制帝国としてのEU（ヨーロッパ連合）を、その形成過程に遡って分析することを目指した。それは、グローバル化する現代世界にあって、世界標準と規制の設定が経済的競争力のみならず政治的影響力を左右するという認識に基づき、この分野で米国と並ぶ力を持つEUの力の源泉を、歴史と現状の両面において解明しようとするものであった。これは、これまでチームで取り組んできたヨーロッパ統合史の研究をさらに発展させ、従来の研究で軽視されてきたEUの帝國的な権力の検討に接続させる新しい試みとなるよう企図した。

3. 研究の方法

本研究では、4年間の期間を用いて、「規制帝国」としてのEUの歴史的形成過程を分析し、現状のEU理解を前進させる。具体的には、以下の3つを追究するよう努めた。

(1) 現状分析：政策分野ごとのEU規制力の経験的検討。とくに、環境、開発、標準化、知的財産、生命倫理等に力を入れる。この際、官民両セクター及びEU・国家等の重層的なアクター配置に留意。

(2) 歴史的検討：EUの規制・標準化権力の制度的形成の歴史を1950年代末に遡り検討する。とくに、域内大国フランスと域外大国イギリスへの影響に留意し、またCEN（欧州標準化委員会）などの制度的起源を重視する。

(3) 政治学的考察：(1)と(2)の政治学的含意の検討。特にEUの権力作用や帝国性を考察し、米国一極集中の下の世界秩序、そして日本の立ち位置への影響を検討する。

4. 研究成果

本研究は、規制帝国としてのEU（ヨーロッパ連合）を分析した。この研究は、グローバル化する現代世界にあって、世界標準と規制の設定が経済的競争力のみならず政治的影響力を左右するという認識に基づき、この分野で米国と並ぶ力を持つEUの力の源泉を、歴史と現状の両面において解明しようとするものであった。これは同時に、これまでチームで取り組んできたヨーロッパ統合史の研究をさらに発展させ、従来の研究で軽視されてきた規制分野におけるEUの帝國的な権力の検討に接続させ、その影響力の条件を明らかにした。

このような問題意識に基づき、分担者がいづれかに関わり、その外延に多くの新たな研究上のパートナーを得る形で、2冊の大きな著作を公刊することができた。一つ目は、EUという規制体の複線的な史的形成を追跡

した『複数のヨーロッパ』（板橋拓己との共編、北海道大学出版会、2010年、341頁）、もう一冊は、より現状分析に焦点を当て、グローバル化時代のEUの規制標準設定力を分析評価した『EUの規制力』（鈴木一人と共編、日本経済評論社、2012年、284頁）である。これにより、危機の向こう側にあるEUの規制分野での力の理解を進展させるとともに、とりわけ、政策ごとのEUの影響力に落差が見られることなどを手掛かりに、グローバル・スタンダードや規制が実際にどのように形成されているのかを具体的に解明することができたと考えられる。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計45件）

1. 遠藤 乾「ユーロ危機の深層——「対岸の火事」を超えて」、アステイオン 76号、P.180-192、2012、査読無
2. 遠藤 乾「変調する独仏枢軸——ユーロ危機下のヨーロッパ」、外交 11号、P.107-114、2012、査読無
3. 鈴木一人「ユーロ危機下のヨーロッパの防衛産業」、海外事情 11号、P.49-65、2011、査読無
4. 細谷雄一「歴史のなかのパワー・トランジション——イギリスの経験から」、国際問題 604号、P.38-46、2011、査読無
5. HOSOYA, Yuichi, “The Rise and Fall of Japan’s Grand Strategy: The “Arc of Freedom and Prosperity” and the Future of Asian Order,” *Asia-Pacific Review*, Vol.18, Issue 1, pp. 13-24, 2011、査読有
6. 吉田 徹「欧州統合とナショナルな政党政治——「欧州懐疑政党」を中心に」、法学研究 84巻2号、P.633-672、2011、査読無
7. ENDO, Ken, “The Politics of Global Governance: Examining the Formation of International Accounting Standards,” *新世代法政策学研究* 2号、P.207-231、2009、査読無
http://www.juris.hokudai.ac.jp/gcoe/journal/LPG_vol2/2_10.pdf
8. 中村民雄「国連安保理決議を実施するEC規則の効力審査：テロリスト資産凍結（カディ）事件・上訴審判決 [2008.9.3 欧州司法裁判所判決]」、ジュリスト 1371号、P.48-59、2009、査読無
9. SUZUKI, Kazuto, “EU As a “Regulatory Empire”,” *新世代法政策学研究* 2号、P.141-159、2009、査読無
http://www.juris.hokudai.ac.jp/gcoe/journal/LPG_vol2/2_7.pdf

〔学会発表〕(計 70 件)

1. 遠藤乾「TPP、上方調和原則、日本外交——グローバル化の再規制に向けて」、震災後の日本に関する研究会・統治部会、御殿山ラフォーレホテル・東京都、2012年3月13日
2. 遠藤乾「平和／安全保障——日本の平和学の系譜から——」、岩波講座「日本の安全保障」研究会、岩波書店・東京都、2012年2月28日
3. SUZUKI, Kazuto, “The Contest for Leadership in East Asia: Japanese and Chinese Approaches to Outer Space, East Asian Space Policy in a Global Context,” University of Bristol, Bristol BS8 1TH, United Kingdom, 2011年11月17日
4. 鈴木一人「軍民両用技術と武器のトランスナショナルな輸出管理——経済と政治のはざまに揺れるEU——」、日本国際政治学会2011年度年次大会、つくば国際会議場・つくば市、2011年11月13日
5. 遠藤乾「鏡としてのヨーロッパ統合」、2011年度日本政治学会研究大会D2分科会、岡山大学・岡山市、2011年10月9日
6. 臼井陽一郎「EU政治の理論と規範モデル：マルチレベル・ガバナンスの規範パワー」、2011年度日本政治学会研究大会B4分科会、岡山大学・岡山市、2011年10月8日
7. 鈴木一人「欧州の「資源外交」は成立するのか？——地域統合と資源外交の戦略的矛盾——」、2011年度日本比較政治学会研究大会、北海道大学・札幌市、2011年6月18日
8. SUZUKI, Kazuto, “Asia in Space: A History (Keynote Speech),” International Workshop on Space Policies and Laws, 中国科学院科技政策与管理科学研究所、北京・中華人民共和国、2011年5月19日
9. 鈴木一人「EUにおけるテロ対処の枠組み」、日本国際政治学会・部会2「テロ対処における多国間枠組みの可能性と課題」つくば国際会議場・つくば市、2008年10月24日
10. 臼井陽一郎「EUの持続性戦略(SDS)とソフト・ガバナンス：民主主義の観点から」、第32回慶應EU研究会、慶應義塾大学・東京都、2008年4月26日

〔図書〕(計 62 件)

1. 遠藤乾「1980年代のヨーロッパ」、南塚信吾・秋田茂・高澤紀恵【編】『新しく学ぶ西洋の歴史』(ミネルヴァ書房)、2012年刊行予定
2. 遠藤乾・鈴木一人【編】『EUの規制力』

- (日本経済評論社)、P.1-284、2012
3. 遠藤乾「序章」、遠藤乾・鈴木一人【編】『EUの規制力』(日本経済評論社)、P.1-14、2012
4. 中村民雄「EUの規制力と法」、遠藤乾・鈴木一人【編】『EUの規制力』(日本経済評論社)、P.37-62、2012
5. 鈴木一人「EUの規制力の定義と分析視角」、遠藤乾・鈴木一人【編】『EUの規制力』(日本経済評論社)、P.17-35、2012
6. 鈴木一人「EUの規制力と日本へのインプリケーション」、遠藤乾・鈴木一人【編】『EUの規制力』(日本経済評論社)、P.267-276、2012
7. 元田結花「EUの国際開発援助政策に見る規制力の限界：利他性・規範性の後退」、遠藤乾・鈴木一人【編】『EUの規制力』(日本経済評論社)、P.221-240、2012
8. 川嶋周一「EU規制力の史的形成」、遠藤乾・鈴木一人【編】『EUの規制力』(日本経済評論社)、P.63-86、2012
9. 青柳由香「EU競争法の対外的な規制力」、遠藤乾・鈴木一人【編】『EUの規制力』(日本経済評論社)、P.111-128、2012
10. 川嶋周一「EUにおける専門性とテクノクラシー問題」、内山融・伊藤武・岡山裕【編著】『専門性の政治学——デモクラシーとの相克と和解』(ミネルヴァ書房)、P.131-169、2012
11. 遠藤乾「国境を超える市民／社会？——欧州連合(EU)を事例として——」、日本法哲学会【編】『2010年度法哲学年報市民／社会の役割と国家の責任』(有斐閣)、P.87-99、2011
12. 遠藤乾・板橋拓己【編】『複数のヨーロッパ——欧州統合史のフロンティア』(北海道大学出版会)、P.1-341、2011
13. 遠藤乾「ヨーロッパ統合史のフロンティア——EUヒストリオグラフィーの構築に向けて」、遠藤乾・板橋拓己【編】『複数のヨーロッパ——欧州統合史のフロンティア』(北海道大学出版会)、P.3-41、2011、査読無
14. 板橋拓己「黒いヨーロッパ——ドイツにおけるキリスト教保守派の「西洋」主義」、遠藤乾・板橋拓己【編】『複数のヨーロッパ——欧州統合史のフロンティア』(北海道大学出版会)、P.81-116、2011
15. 遠藤乾【編】『グローバル・ガバナンスの歴史と思想』(有斐閣)、P.1-328、2010
16. 元田結花「IDSにおける開発間の形成：植民地経営から国際的課題としての開発へ」、遠藤乾【編】『グローバル・ガバナンスの歴史と思想』(有斐閣)、P.163-190、2010
17. 臼井陽一郎「EUの環境ガバナンスとデモクラシー」、庄司克宏【編著】『EU環

境法』(慶應義塾大学出版会)、P.289-325、
2009

18. 遠藤乾【編】『【原典】ヨーロッパ統合史：
史料と解説』(名古屋大学出版会) P.1-799、
2008

[産業財産権]

○出願状況 (計0件)

○取得状況 (計0件)

[その他]

ホームページ等

<http://endoken.blog.fc2.com/>

<http://www.juris.hokudai.ac.jp/~endo/>

6. 研究組織

(1)研究代表者

遠藤 乾 (ENDO KEN)

北海道大学・大学院公共政策学連携研究
部・教授

研究者番号：00281775

(2)研究分担者

中村 民雄 (NAKAMURA TAMIO)

早稲田大学・法学学術院・教授

研究者番号：90237412

鈴木 一人 (SUZUKI KAZUTO)

北海道大学・大学院公共政策学連携研究
部・教授

研究者番号：60334025

細谷 雄一 (HOSOYA YUICHI)

慶應義塾大学・法学部・教授

研究者番号：90322784

(H21→H21：連携研究者)

臼井 陽一郎 (USUI YOICHIRO)

新潟国際情報大学・情報文化学部・教授

研究者番号：90267451

吉田 徹 (YOSHIDA TORU)

北海道大学・大学院法学研究科・准教授

研究者番号：60431300

元田 結花 (MOTODA YUKA)

学習院大学・法学部・教授

研究者番号：20292807

川嶋 周一 (KAWASHIMA SHUICHI)

明治大学・政治経済学部・准教授

研究者番号：00409492

板橋 拓己 (ITABASHI TAKUMI)

成蹊大学・法学部・助教

研究者番号：80507153

(3)連携研究者

青柳 由香 (AOYAGI YUKA)

東海大学・法学部・講師

研究者番号：60548155